

マコガレイ

Pleuronectes yokohamae

地方名
くろがしら（八戸、陸奥湾）、まがれい（陸奥湾、日本海）



生態

- ①寿命：約10年。
- ②成熟年齢：2歳（オス体長15.4cm、メス体長13.0cm）以上。
- ③産卵期・産卵場：12月～翌年4月。
陸奥湾では12月～翌年1月。
太平洋では1月～3月。
日本海では3月～4月。
水深10～60mの砂泥域。
- ④分布：北海道中部以南から大分付近、朝鮮半島南部東シナ海。
- ⑤生態：通常は水深100mより浅い砂泥域に生息。食性は珪藻類、橈脚類、貝類、アミ類、ゴカイ類、甲殻類。

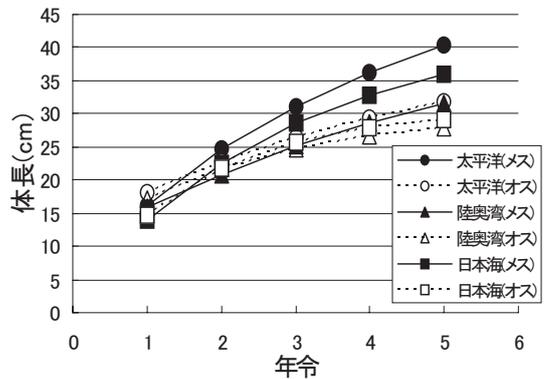


図 青森県におけるマコガレイの成長

主な漁業

底建網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は太平洋と陸奥湾では12月～翌年2月、日本海では1月～4月。2歳から漁獲される。

漁獲と資源の動向

※県全体の漁獲量の推移を右に示した。資源評価は地区別に次ページに示した。

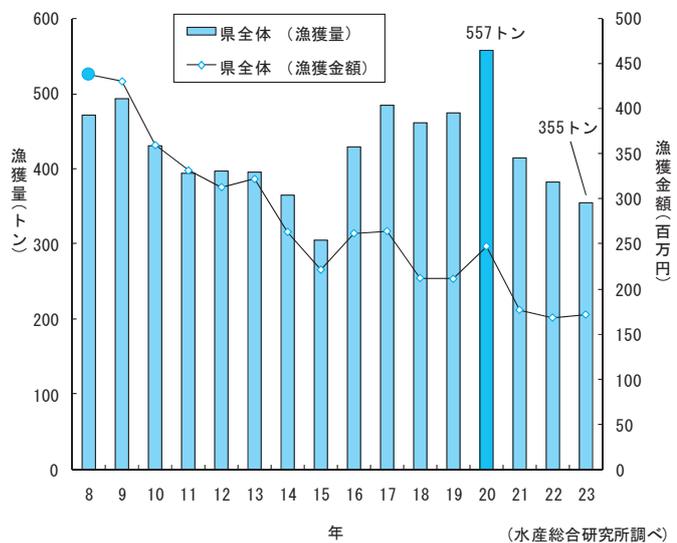


図 青森県におけるマコガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

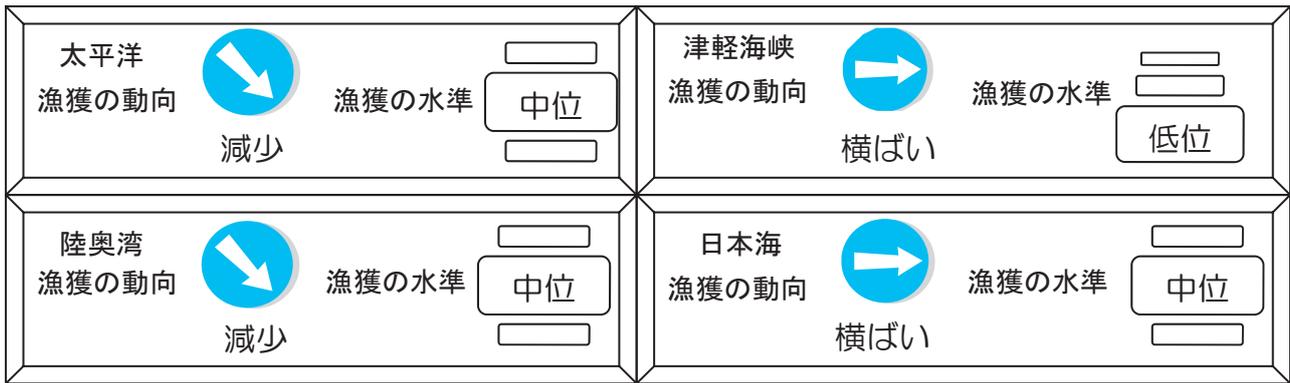
資源を上手に利用するために

- マコガレイ資源管理計画（平成13年3月）
- ・全長20cm未満個体の再放流、かれい刺網の目合制限（3.5寸以上）を定めている。
- ☆上記の取り組みを継続することが必要である。

トピックス

本県に分布するマコガレイは、産卵期が太平洋、陸奥湾口、陸奥湾奥、日本海でそれぞれ異なり、遺伝的にも異なる（日本海区水産研究所）。

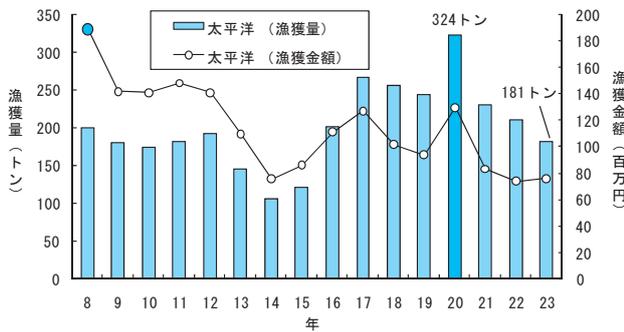
漁獲と資源の動向



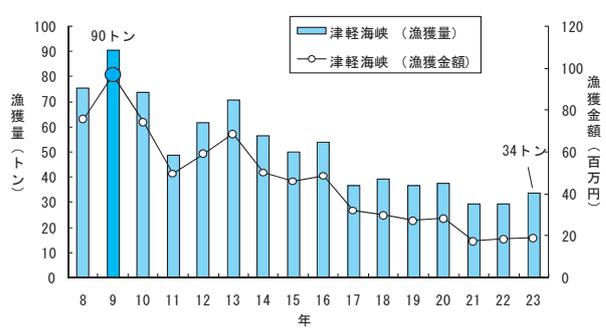
海域別漁獲量及び漁獲金

太平洋では平成15年から17年にかけて急増した後緩やかに減少し平成23年は181トン、津軽海峡では平成9年の90トンに徐々に減少し平成23年は34トン、陸奥湾では平成19年以降は減少傾向にあり平成23年は98トン、日本海では平成5年の75トンを増減を繰り返しながら徐々に減少したが、平成15年の28トンを底に増加に転じ平成23年には42トンであった。

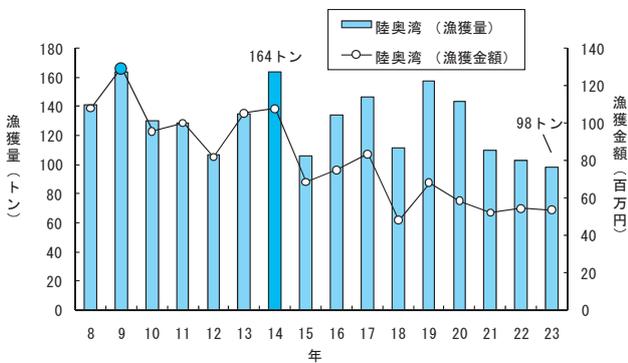
太平洋



津軽海峡



陸奥湾



日本海

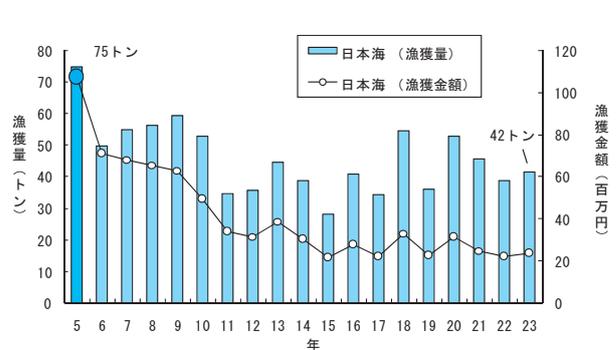


図 青森県におけるマコガレイの海域別漁獲量及び漁獲金額の推移 (水産総合研究所調べ)